

市町村名	久米島町
------	------

令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	久米島町健康増進事業	事業類型	<input type="checkbox"/>	産業振興
			<input checked="" type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他

担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度
-------	-----	------------	------------

事業内容	久米島特有の糖尿病を誘発する因子を解明し、糖尿病対策の有効策を確立するため、糖尿病の因子解明に向けた調査研究及びをスマホアプリ等を活用した保健指導システムの構築を行う。			
	先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input checked="" type="checkbox"/> その他

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)
--------	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	---

予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	184,134	71,233	153,657	
(b) 予算現額	173,784	71,233	153,657			
(c) 増減額(b-a)	▲ 10,350	0	0			
(d) 繰越額	0	0	0			
A. 計(b+d)	173,784	71,233	153,657			
B. 執行済額	164,514	70,932	153,287			
うち補助金充当額	131,611	56,745	122,629			
次年度繰越額	0	0	0			
執行率(%) (B/A)	94.7%	99.6%	99.8%			
予算の状況の説明	当初の計画どおり、データ解析及び保健指導システムの構築を行い、事業は適正に執行することができた。不用額370千円については、研究参加者が予定より減少したことによる費用の減である。					

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
血液、排せつ物の解析を行い糖尿病を誘発する因子の解明	目標	(1件)	(1件)	()	()
	実績	1件	1件		
事業参加者数	目標	()	(500人)	()	()
	実績		347人		
糖尿病解決のためデジタルデバイスを活用した方策の検討	目標	(1件)	(1件)	()	()
	実績	1件	1件		
人工知能によるデータ解析	目標	()	()	(1件)	()
	実績			1件	
糖尿病解決のため保健指導ロジックを確立し、デジタルデバイスを構築	目標	()	()	(1件)	()
	実績			1件	
説 明	<input checked="" type="checkbox"/> 糖尿病解決のために、個人のヘルスデータをAIで解析し、確立したロジックによる適切な指導コメントを提供するシステムを構築した。 <input checked="" type="checkbox"/> 令和元年12月にすべての被験者の介入期間が終了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
			生活介入により、ヘモグロビンA1cの値が改善された町民の数	目標	(20人)	(30人)
	実績		30人	33人		
介入研究の被験者のうちHbA1c(ヘモグロビンエーワンジー)の値が改善された被験者の割合	目標	()	()	(60%)	()	
	実績			23.3%		
介入前より体重が1kg以上減少した被験者の割合	目標	()	()	(60%)	()	
	実績			40.6%		
進捗状況説明	<input checked="" type="checkbox"/> 被験者128人中、HbA1cが改善したのは33人(25.8%)であり、目標を達成することができた。 <input checked="" type="checkbox"/> 被験者128人中、73人の介入群でHbA1cが改善したのは17人(23.3%)にとどまり、目標達成に至らなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 被験者128人中、73人の介入群で介入前より体重が1kg以上減少した被験者は40.6%にとどまり、目標達成に至らなかった。65歳未満男性の特定の層ならびにアプリ使用頻度の高い被験者では有意に体重減少・HbA1c改善を得たことが明らかになった。 これらの成果は令和2年10月日本糖尿病学会九州地方会、令和3年3月日本肥満学会・日本肥満症治療学会学術集会、同年4月日本内分泌学会学術総会などの学会で発表した。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○特定健診の受診率がR1年39%と低い状況であり、またメタボリックシンドローム該当者の割合が34.7%(予備軍21%)と多く、特定保健指導を実施したいが、限られた保健師・管理栄養士・看護師で実施していかなければならない。	○介入群でアプリ使用頻度が高い被験者の体重減少・HbA1c改善が見受けられたことから、介入プログラムを保健指導システムに組み込み、保健師・管理栄養士・看護師の負担軽減を図る。

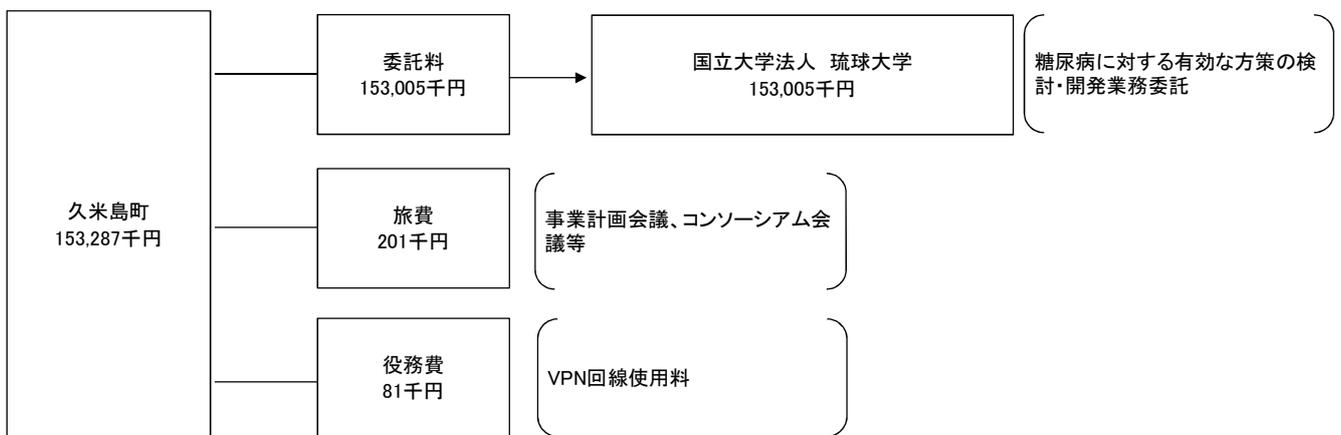
今後の取り組み方針

○慢性的な保健師、栄養士などの専門職不足の中、保健指導システムをとおしデジタルデバイスを活用した保健指導を行うことにより、糖尿病等の対策を行う。さらに琉球大学では研究データを引き続き解析し久米島町に提供する。解析結果を基に糖尿病の解決により有効な保健指導を行う。

○R2年度はコロナ感染症の流行により集団健診が中止となり、保健指導システムの活用ができなかったが、R3年度は集団健診が実施できたため、糖尿病重症化予防の対象者を絞り、デバイス上で指導していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
153,287	153,287	122,629	30,658	0



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先は「久米島町健康増進事業」を効率的に営み、優れた成果を達成することを目的としたコンソーシアム構成員であり妥当である。また地方自治法施行令第167条の2項第1項の規定により随意契約としている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、見積書を厳正に精査した。また、不用額は事業費の1%以下であり、適正な規模であると考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ検収時において確認を行い適性であった。

市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	久米島町空き家活用事業	事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	令和元年度				
事業内容	移住者等の住宅不足の解消を図るため、空き家の活用に向けた現状調査及び空き家対策計画策定を行う。						
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	年度	年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		8,198				
			8,198				
			0				
			0				
			8,198				
		B. 執行済額	7,902				
		うち補助金充当額	6,321				
		次年度繰越額	0				
		執行率 (%) (B/A)	96.4%				
	予算の状況の説明	当初の計画どおり、本町の空き家に対する有効な方策の調査・計画を執行することができた。不用額296千円の内訳は委託料の入札残、空き家対策協議会委員の協議会欠席における報酬費の減額及び委員の旅費の減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
	空き家調査	目標	(1件)	()	()	()	
		実績	1件				
	空き家対策計画の策定	目標	(1件)	()	()	()	
		実績	1件				
達成状況説明	○空き家調査については、町全域を対象に、調査候補とされた598件を対象に外観目視による現地調査の実施を行った。その結果、空家等と推定された件数は155件あり、その建物に対して不良度判定を行った。また、所有者のあて先が特定できた131件の所有者等に対して意向調査の実施を行った。 ○空き家等の利活用促進のため、令和2年2月「久米島町空家等対策利活用計画」の策定を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	空き家バンクに掲載された物件へのマッチング成約率	目標	()	(50%)	()	()	
		実績			70%		
	進捗状況説明	○令和2年度は空き家バンクに掲載された物件が10件あり、うち7件が成約した。 ○移住定住相談窓口である島ぐらしコンシェルジュ(地域おこし協力隊)内に空き家相談員を配置し、今後も活動を継続する。 ○毎月、町広報誌に空き家コラムを載せることにより、空き家の利活用や対策について情報提供を行っている。 ○住まいについての相談フォーム「不動産アンケート」を令和2年4月より運用開始し、90件の問い合わせがある。(令和3年3月末時点) ○空き家バンクへの登録は2件、そのうち1件は商談中となっている。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○空き家バンクへの相談は増加傾向だが、家屋の相続登記がなされておらず、空き家バンクへの申請までに時間を要している。</p> <p>○空き家調査で確認ができた155物件のうち、空き家バンクへの登録にまで結びつけることができたのは一部のみである。</p>	<p>○未登記や相続登記がなされていない空き家が多いため、相続登記の必要性を伝えることが必要。</p> <p>○空き家予備軍についての実態把握が必要。 (空き家予備軍:65歳以上の高齢者単身世帯が現在住む戸建住宅とマンションの持ち家を指す。)</p> <p>○空き家利活用促進補助金制度を設け、空き家の利活用促進が必要。 (久米島町空き家バンクに掲載する空き家の改修及び家財撤去に係る費用の1/2上限50万円を補助するものである。)</p> <p>空き家の改修等にかかる経費の一部の支援を行うことで、慢性的な住宅不足の緩和や移住定住の促進を図ることができる。</p>

今後の取り組み方針

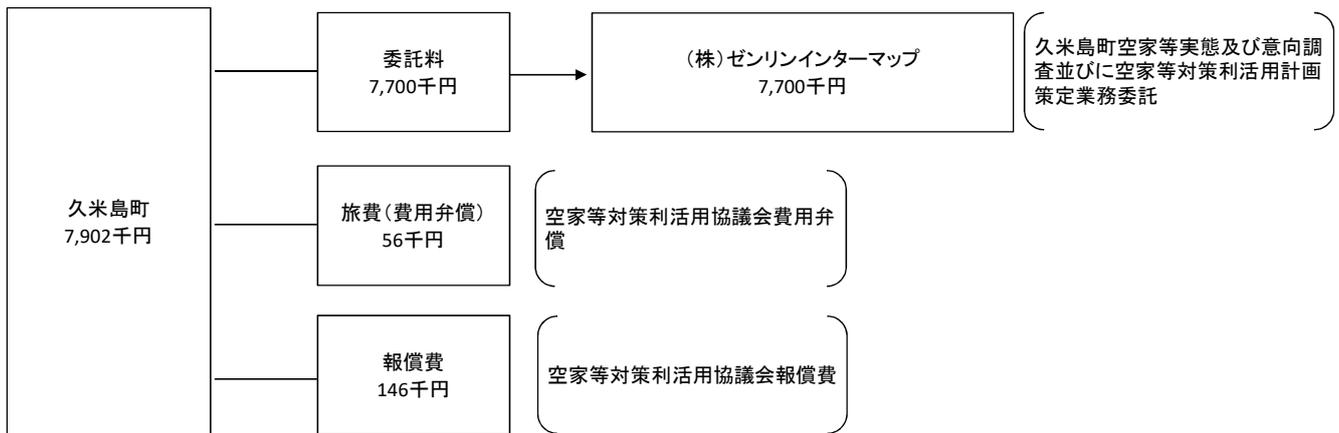
○未登記物件の場合、多くは土地の名義も先代のままとなっている場合が多い。そのため、相続登記の必要性を伝えるべく、老人会やデイサービス事業所へ出向き、相続登記や空き家活用の講座「おしかけ講座」を行う。(新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていないため、今年度引き続き取り組みを行う。)

○空き家バンクへの登録強化のため、定期的に応報活動を行う。(町広報誌、ラジオ等)

○令和3年供用開始予定の納骨堂を利用する方に対して「空き家・空き地バンク」のチラシを配布するなど、納骨堂担当課と協力を行い、空き家バンクへの登録強化を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金		補助対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,902	7,902	6,321	1,581	0



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費用・使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	企画公募等により選定された事業者であり、これまでの事業実績から見ても妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、3者見積りにより行った。不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用・使途については、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、検収時において確認を行い適正であった。